

日本共産党平塚市議会議員団



住み続けたい
平塚にするために

松本 敏子 議員

学校における子ども
たちの安心・安全

問 新型コロナウイルスの感染から子供たちの命を守る施策として、抗原検査キットの無料配布や、適切に教室の換気を行うためのCO2モニターの配置、少人数学級の拡大が必要ではないか。

教育指導担当部長 検査キットは、県が学校を通じてワクチン接種対象外の児童がいる世帯へ配布する予定で、自宅での使用を想定している。CO2モニターは整備を進めていく。少人数学級は、現在小学校2年生までだが、令和7年度には小学校全学年が対象となる。中学校でも実施されるよう要望していく。

湘南海岸公園
龍城ヶ丘ゾーンの
公園整備について

問 市長の指示で、樹林帯の保全率を当初の30%台から増やす検討をしているという。昨年の3月議会ではBエリアの伐採率は約60%の見込みとの答弁があった。40%は残ると思わせて実は30%しか残らないということだったのか。

都市整備部長 当初から約38%を保全する計画であり、それを上回るよう検討しているところである。

問 塩害・風害の調査は行ったのか。また、整備後の後背地への影響をどのように考えているのか。

都市整備部長 塩害・風害の調査は今後行うが、時期や方法は検討している。本事業は後背地への影響がないように計画を進めており、整備後もモニタリング調査を実施していく。

問 整備計画の最終案が確定する前に、住民に説明をする考えはあるのか。

都市整備部長 令和2年10月に一つの区切りとして意見交換会を開催しており、市民の意見を聞いてきたという認識である。それを基に最終プランを示したい。ソフト面では意見を反映できる部分はあるが、ハード面は難しいと考えている。

問 生活保護のケースワーカーに助言・指導する査察指導員が不足し過重労働になっているのではないかと。生活保護課の担当者が査察指導員のフォローをしており過重労働にはなっていないと考える。

問 不正受給が問題視される中、原因が行政側にある場合も見受けられる。医療扶助の受給者が入院を繰り返したために、月ごとの返還額の計算が難しく、まとめて多額の請求をされたという事例も聞いている。査察指導員が立ち会って確認するべきではないか。

福祉部長 事例の内容をはっきりと承知していないので今後調べたいと思う。

問 本市が利用する無料低額宿泊所の実態と、アパートに移るための手続きについて伺う。

福祉部長 4月1日現在、市内外合わせて41か所、利用者数は121人で、最長20年の入所者がいる。アパートに移る場合は、本人の課題を整理し、一人暮らしができるかを福祉事務所内で検討し判断している。

問 厚生労働省は、住む家がない人の生活保護申請について、無料定額宿泊所への入所を要件とはしていない。本市の考え方を伺う。

福祉部長 入所せずに申請することも可能と考える。

無所属



妊娠期から産前産後期に
おける子育て支援

久保田 聡 議員

問 母子手帳交付時から出産までの期間における、妊婦の状況把握が必要と考えるが見解を伺う。

健康・子ども部長 母子手帳交付時の面談に加え、全14回の妊婦健診で医療機関と連携するなどして健康面の情報把握もしている。相談も随時受け付けており、状況を把握する場は設けていると考えている。

問 産前のメンタル相談は、具体的な案内がなく詳細がわからない。

健康・子ども部長 妊娠前から就学前までのさまざまな相談や助言などの支援を行う「ネウボラルームはく

くみ」で、随時電話相談を受け付けている。産後4か月までに自宅訪問を行う「こんにちは赤ちゃん訪問」では、育児の悩み相談や母子の健康状況、家庭環境などを把握している。また、産科医療機関から提供される各種連絡票による把握も行っている。

問 父親も積極的に育児に参画する時代であり、父親を対象とした産後事業を構築する必要があると思うが見解を伺う。

健康・子ども部長 まずは母親のフォローを考えたうえで、父親の力も当然必要

問 産後のデイサービスやシヨートステイの必要性に対する見解を伺う。

健康・子ども部長 本市ではシヨートステイは行っていないが、コロナ禍の影響で実家を頼れず、産後うつになる人も増えているため、デイサービスやシヨートステイなどの産後ケア事業の充実が必要であると認識している。今後も妊産婦のニーズを把握し、産後ケアのあり方や事業の充実について研究していく。

問 デイサービスやシヨートステイに関して、市内産院との連携を検討してほしい。また、市外にある受け入れ可能な施設と連携し、

声や点字の
議会だより

目の不自由な方に市議会の活動をお伝えするため、議会だよりの内容を朗読した「声の議会だより」を発行しています。また、点字版も発行しています。

問い合わせ
議会局 ☎21-8791

事業を構築する必要があると考えるが見解を伺う。

健康・子ども部長 特定の施設に限らず範囲を広げ、各施設の規模や受け入れ状況などを踏まえながら、本市としてどのような関わり方ができるのかを引き続き研究していきたい。

このほかの質問 中心市街地における賑わいづくり、自然災害対策と避難対策

無所属議員 小泉 春雄 議員



石田 雄二 議員

常任委員会の審査概要

今定例会に上程された議案は所管の常任委員会に付託して審査しました。常任委員会の主な質疑を紹介します。

教育民生

議案4案件は全て原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第53号 平塚市個人情報保護条例の一部を改正する条例

問 今回の改正内容を伺う。

答 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の第19条第4号が追加されたことに伴う号ずれと、マイナンバーの事務が総務省からデジタル庁に移管されたことによる、主務大臣の変更に伴う条例

改正である。

○議案第67号 令和3年度平塚市一般会計補正予算

問 一般管理費の文化芸術ホール開館準備事業について、利用状況についての現場確認や、アンケートの実施などはいつ頃行う計画で考えているのか。

答 開館後の利用状況の把握方法については現在検討中である。開館後に向けて、来館者へのアンケートなどは前向きに考えて、今後の環境整備に役立てていきたいと考えている。

問 教育指導費のGIGAスクール構想推進事業について、端末機を貸与していくに当たりセキュリティ上の問題にどう対応していくのか伺う。

答 フィルタリングについては、学校で利用する際には、SNS等にアクセスできないフィルターをかけている。家庭で利用する場合のフィルターは現在接続テスト中だが、グーグル社のフィルターがかかることになっている。パスワードは、小学校3年生以上はログインの際にパスワードを変更す

る設定になっている。小学校1年生、2年生については、共通パスワードの使用も可能としているが、変更をしている学校もいくつかある。

問 学校管理費の小学校運営事業について、相模小学校の工事の進捗状況を伺う。

答 建物の躯体工事が終わり、設備機器の配管工事などを順次進めている。当初は地盤との関係で遅れが生じたが、工程などを工夫し契約工期内に工事が完了するよう順次進めているところである。